



NEWSLETTER

～ 水を守り 湖を救う ～

公益財団法人 国際湖沼環境委員会(ILEC)
本ニュースレターには、英語版もございます。



第20回世界湖沼会議「湖沼の声：統合的流域管理をめざして」

2025年7月21日から25日、ILECならびにグリフィス大学は、オーストラリアのブリスベンで第20回世界湖沼会議（WLC20）を開催しました。同会議には世界27か国から322人が参加しました。

開会式は、先住民による伝統的なパフォーマンスで華やかに幕を開け、主催者、オーストラリア政府、クィーンズランド州の代表が祝辞を述べました。

続いて、フィジーのブリダヴ環境・気候変動大臣、インドネシアのヌロフィク環境大臣、日本の中田環境副大臣が登壇しました。ブリダヴ大臣は「湖沼は破壊された環境を映すだけでなく、可能性を示す存在だ」と語り、また、断片化された水管理の限界を指摘しました。そのうえで、森林から海岸までをつなぐ統合的流域管理の重要性を強調し、湖沼を国家および地球規模の優先課題とすべきだと訴えました。ヌロフィク大臣は、国連で「世界湖沼の日」の採択を主導した国としての責任を述べ、「この日を単なるイベントで終わらせず、具体的な行動への転換点としましょう」と強いメッセージを発信し、アジア太平洋地域における国際連携の拠点づくりを提案しました。また、中田副大臣は日本の公害克服と湖沼再生の経験を振り返り、「環境を整えれば自然は応えてくれる」と述べ、自然と向き合う姿勢と国際的な知見共有の重要性を訴えました。

その後のパネルディスカッションには、オーストラリア、日本、インドネシア、タンザニアの高官のほか、滋賀県の岸本副知事も登壇しました。ディスカッションでは、湖沼の未来や各国の課題、教訓や優良事例について活発な議論が展開されました。また、「国連水会議」や「世界湖沼の日」に向けた力強いメッセージと、ブリスベン宣言とのつながりも深く掘り下げられました。岸本副知事は、「現在・過去・未来の三つの視点から湖沼の保全に取り組むことの重要性」を語りました。

さらに、現地オーストラリアからは、「土地の文化的価値や先住民にとっての水質と気候変動を理解することの重要性」に関する講演が続きました。

開会式の締めくくりとしては、昨年末国連で制定された国際デー「世界湖沼の日」を今年初めて迎えるにあたり、国連環境計画のガードナー生態系部門長、ラムサール条約事務局のムンバ局長、滋賀県議会の目片議長からメッセージが届けられました。ガードナー部門長は、メッセージで、「世界湖沼の日は、祝うべき日であるが、湖沼が人々の暮らしにどれほど深く関わっているかを再認識する日」でもあることを強調しました。

なお、第21回世界湖沼会議は2027年夏にタンザニアのダルエスサラームで開催される予定で、ILECでは引き続き世界の湖沼の持続可能な管理に向けて取り組んでいきます。



ミーンジン・ブリスベン宣言

世界湖沼会議では各回、湖沼の環境保全や持続可能な利用に関する指針を示す宣言を発売します。WLC20において採択された宣言の概要は次のとおりです。なお、原文はWLC20公式サイトよりご覧になれます。

前文

湖沼は地球上の淡水の大部分を蓄え、人類の生活・生態系に不可欠な役割を果たしてきた。しかし現在、汚染や過剰利用、気候変動などにより深刻な危機に直面している。湖沼の持続可能性を守ることは、持続可能な開発、気候変動への適応、生物多様性の保全にとって不可欠である。国際社会は国連記念日「世界湖沼の日（8月27日）」や国連環境総会の決議を踏まえ、実践的解決策、ガバナンス強化、包摂的協働を通じて湖沼の未来を守ることを誓う。

湖沼の持続可能性のための原則

1. 湖沼は生命と地球の健康に不可欠
2. 湖沼は一体的なシステム
3. 湖沼は環境と社会の変化の指標
4. 湖沼の劣化は地球の持続可能性を脅かす
5. 先住民族と地域社会の主導が不可欠
6. 気候変動には、緊急かつ適応的な対応が必要

グローバルな呼びかけ

- 政府へ：科学に基づいた政策と実行を
- 国連へ：湖沼をポストSDGsの枠組みに
- 国際機関へ：協定・資金面で湖沼を優先事項に
- 科学界へ：データとツールの共同開発を
- 企業へ：湖沼への影響開示と自然配慮の事業へ
- 市民社会へ：湖沼とつながり、声をあげる行動を

行動へのコミットメント

私たちは以下の行動を約束します：

- 政策フレームワークへの統合
- 統合的流域管理
- 先住民と地域社会との協力
- モニタリングと研究の強化
- 技術とイノベーションの推進
- 持続可能な資金調達
- 教育と次世代の関与

宣言原文はこちら



INTERNATIONAL LAKE ENVIRONMENT COMMITTEE FOUNDATION (ILEC)

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 公益財団法人 国際湖沼環境委員会
— 事務局 — Tel: 077-568-4567 / Fax: 077-568-4568 / E-mail: infoilec@ilec.or.jp
Website: www.ilec.or.jp / Facebook: www.facebook.com/ilec.japanese